



2010-2011 ユース事業通信

(第1号)2010.11.13

<発行・編集>
ワイズメンズクラブ
国際協会東日本区
ユース事業主任
吉田絢子
(東京銀座)

東日本区ワイズメンの皆さんこんにちは、2010～2011年度・ユース事業通信第1号をお届けいたします。次世代を担うユース活動に関心を深めご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

IYC (国際ユースコンボケーション) 報告

8月2日～8日東山荘・富士山YMCA・横浜で開催されましたIYCでは、29カ国147名の参加者で過去最大のIYCになりました。一週間という限られた時間の中で、自国におけるユース活動報告、歌、踊りなどで文化を紹介したり持続可能なプロジェクト実現に向けて慶応大学細田教授の講演がありました。

その後、環境問題を取り上げ、環境汚染、その原因、影響、解決策についてグループ発表し、国別になり、国際大会最終日に発表されましたが、日本では千葉YMCAリーダー関 彩也香さんが『打ち水』について発表されたことは記憶に新しいと思います。国際大会開会式ではバナーセレモニーに参加、また、『日本の祭り』ではメネットさんに着せていただいた浴衣を着て、歌ったり、盆踊り、縁日に参加しお土産に浴衣一式を頂いたと大喜びでした。メネットの皆様ありがとうございました。

4日に富士山YMCAで行われた植樹祭には「つつじ20本・どんぐり25本X4袋」を記念に植えました。ユースとともに大きく逞しく育ててほしいと願っています。

また、国際議員の方々を交えてのBBQでは北海道から沢山のお肉を、富士山部の皆様には200余名にも及ぶ食材の調達・準備から後片付けまでご奉仕頂き本当に感謝しています。

IYCに参加した日本のユースも開催期間中のミーティングはすべて英語という中で、異文化に触れ、多くの友人を作り世界へ目が向いたと思います。今後の活躍を期待したいと思います。

『環境』をテーマに開催されましたIYCの報告書は、印刷配布をせず、PDFまたはCDで配布し、二酸化炭素排出削減(carbon neutral)に協力していくことを決めました。

ユース国際プロジェクト

TB (Tuberculosis) 結核

AIDSと同じように認知度を高めて増加傾向にあるTB(結核)を未然に防ぐ活動。

日本では他国に比べると深刻ではないが、空気感染するもので自分が発症しなくても、他人に移す可能性もあり、AIDSと同じように正しい認識が必要である。

新クラブ設立 (Area India)

インドで新しいクラブがチャーターされました。

ワイズユースクラブ 『カルーニャ』 Y's Youth Club of Karunya

YVLF (ユースボランティア・リーダーズフォーラム)

第23回ユースボランティア・リーダーズフォーラムが9月10(金)～12(日)東京YMCA山中湖センターにて開催され、東日本区に所属するYMCAの経験2年未満のボランティアリーダー29名、カウンセラー5名ワイズ31名が参加しました。基調講演では『今、ユースボランティアリーダーに求められること』と題し、青山鉄兵氏(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部助教)から『関わること・遊ぶこと・悩むこと』に分け、リーダーにとって大切なことは何かを考えてみるお話を聞きました。また、ワイズ談義では東京武蔵野多摩クラブから宮内友弥ワイズが世界を見ることによって人生を楽しく過ごすお話しをしてくださいました。

2泊3日のフォーラムに参加したリーダーは大きく成長し、各地のYMCAで活躍しています。毎年、ワイズとYMCAが共同で実行委員会を設け、企画運営を行っています。YMCAは各コミュニティーセンターが持ち回りで事務局にあたり、ワイズはユース事業として費用支援(各クラブからの拠出金で運営)をしています。

来年は9月9日(金)～11(日)に開催されます。詳細は後日、お知らせさせていただきますので、ぜひ、ご参加下さい。

東日本区7部の『部会』が終わりました。

ユースを巻き込んで楽しく活気ある『部』もありました。日ごろ、ユースと関わりを持つことは少ないと思いますが、クラブ例会にゲストとして招き、活動報告などを聞いてユース理解を深めてくださいますようお願いいたします。

STEP 派遣

千葉クラブ推薦で8月のIYCに参加された、関 彩也香さんがSTEPに応募され手続き中です。

目的：IYCのプログラムに決まったTB（結核）は、アフリカで拡大しており、その現状視察とアフリカのユース活動を体験すること。

YEPP/STEP 派遣者を募集しています。

YEPP・・・ワイズメン子弟の高校留学生交換事業（1年間）

ワイズ経験豊かな家庭ならば派遣・受け入れ共に資格がある。派遣の場合、希望する年度（原則は夏から翌年夏までの1年間）の前年にクラブを通じてRSD（区ユース事業主任）宛応募すると、国際を通して希望国相手の国内受け入れクラブを探してくれる。

STEP・・・ワイズメン子弟の海外短期留学援助事業

ワイズの子弟に限らず、ワイズに理解ある15～25歳の青年も応募できる3～12週間の短期留学制度。海外のワイズ家庭に滞在し、ワイズユースと共に種々の体験学習をする。応募は希望期間の半年以上前にクラブを通じてRSD（区ユース事業主任）へ送る。

プルタブ収集事業

今年度も引き続き、『プルタブ収集』に取り組んでいます。東日本区事務所で集計しておりますので、事務所にお越しの折にご持参いただくか、宅配便にてお送り下さい。（送料はクラブでご負担下さい）

なお、お送りくださるときは中身確認をし、プルタブ以外の雑物はいれないようお願いいたします。

2011年3月末日にて今年度の集計は終了とし、ユース事業委員会・ユース代表者で検討し、『車椅子贈呈先』を決めたいと思います。『車椅子』をご希望の方は、3月に募集いたしますので投票下さい。（追ってご案内いたします）

東日本区からのアンケート「STEP」についてもお答えいただきありがとうございます。

海外のユースは日本でのホームステイを望んでいます。

国際交流の良いチャンスです。多くのワイズ・メネットの皆様にご協力をお願いいたします。アンケートにご協力いただいた方々には、STEPについてのミニフォーラムを考慮中ですのでぜひ、ご協力下さい。

『YS - YMCA - NEWS』メールマガジンをお読みいただいていますか？

メールマガジンは隔月(2,4,6,8,10,12月)に発行されています。

今まで発行に携わられてこられた中村吉孝ワイズ(湯河原クラブ)に代わって12月発行から大久保知宏ワイズ(宇都宮クラブ)が担当いたします。

東日本区の3つのユースクラブ(Y3宇都宮・ワイズユースクラブ横浜-Y3・ワイズユースクラブ東京-Y3)の活動報告を掲載していきたいと思っています。

また、皆さんのクラブでユースと協働した活動なども紹介させていただきますので、担当者の大久保さんまでご連絡下さい。連絡先：大久保 知宏(宇都宮クラブ) ロースター参照